

貸切バス事業者 安全性評価認定制度
安全性で三ツ星取得 氷上観光有限公司



最良のサービスをめざして
キーワードは「安全と快適」

氷上観光(有)が、日本バス協会の貸切バス事業者安全性評価認定制度で、丹波地域で初めて最高ランクの三ツ星認定を取得しました。

部長の竹内和重さん・足立寿宏さんあしだ ひろに、乗務員の安全教育や健康管理、車両整備など、三ツ星取得への取り組みについて伺いました。

☎ 82 - 3973



丹波地域初の最高ランクに認定

観光バスや学校への送迎など、貸切バスを運行する氷上観光は、昨年12月、貸切バス事業者の安全性を評価する認定制度で、丹波地域で初めて最高ランクの三ツ星に認定されました。

審査では、安全性への取り組みや、事故・行政処分がないか、運輸安全マネジメントの取り組み状況が評価されます。氷上観光は、乗務員の安全教育や健康管理、車両点検整備などの取り組みについて、特に優良なバス会社と認められました。

乗務員の安全教育を徹底

評価された取り組みは、乗客への任意保険の充実や、乗客が押せる緊急停止ボタンのついた新型車両の導入、さらには、乗務員の安全教育訓練の徹底などです。

乗務員の安全教育は、全ての乗務員を対象に、講師を招いて、定期的に実施しています。車内に乗客がいるという想定で、あらゆる危険を予知する訓練を行っています。

また、睡眠時無呼吸症候群の検査など、乗務員の健康管理にも力を入れ、今回、4回目の挑戦で三ツ星を取得することができました。

車内環境を快適に整える

冬場には、新型コロナウイルスの影響などもあり、予約されるお客さんからよく、「バスの車内装備に空気清浄機はありますか」という問い合わせがありました。

お客さんに快適に乗車してもらうために、一部の車両には、空気清浄機を装備しています。また、感染症対策のために積極的に衛生管理に取り組み、バス車内の手すりや、シートベルトまで消毒や清掃を心がけています。

安全安心につながる取り組みを

春と秋の全国交通安全運動の期間中は、車への関心を高めて事故防止につながるため、会社敷地内に昔懐かしい乗用車やトラック、ジープなどを並べて、地域の人たちに交通安全運動を啓発しています。

新型コロナウイルスの影響で、貸切バスの予約キャンセルが相次いだ時期がありました。しかし、安全こそが最良のサービスという信念のもと、万全の準備をして、お客さんに安全・快適に利用してもらえよう、誠意と感謝をもってサービスの向上を図りたいと思います。